

「さまざまなペアレンティングプログラム～大阪方式マザーグループのもう1つの役割～」

日本は、少子・核家族化が進み出生率は約1.4で推移し、先進国の中では低い値になっています。また、「子どもをもっと増やしたいか?」という国際意識調査では、スウェーデンは約86%、フランス・アメリカでは約80%が「はい」と答えたのに対し、日本の割合は50%以下であり、子どもの出生数は現に減少してきています。

現代の日本の子育て事情をみると、人間が群れを成して暮らすようになった石器時代からの長い歴史の中でも、今ほど夫婦だけの子育てをしている時代はないと言われていています。今までは親族や地域などいろいろな人が助けてくれていました。もちろん、そのための人間関係の別のしんどさはあったかも知れません。しかし、2000年に入るところから、相談現場では嫁姑問題に代わり、「子どもが群れて遊ばない」「公園デビューが怖い」「子育ての仕方が分からない」といった子育てそのものの相談が多くみられるよう変化してきました。地域の養育力の低下や子育ての伝承がなくなってきたうえに、多様な価値観の中で、母親は孤立し、地縁血縁の希薄化から子育てのモデルがないまま、子育てに自信をなくし困難を感じてしまう人が増えていったのです。2003年の原田正文先生の大阪レポート、和歌山医科大学の柳川敏彦先生の追跡調査をみてもこの傾向は今もあまり変わっていません。

一方、別の資料では、1973年頃は家族より職場や地域の付き合いが重視されていましたが、今はそれより家族が大切という傾向にあります。しかし、2007年のユニセフの「先進国に住む子どもの幸福度調査」では、その当時の日本の15歳の子どもの「自分が孤独であると感じている」割合は他国より群を抜いて高く、幸福度は、一番低いワースト1という調査結果となっています。

その後も依然として子育ての状況は改善されず、虐待の件数も年々うなぎのぼりです。

各市町村の虐待対策状況をみると、通告があっても9割が在宅支援となっています。2000年児童虐待防止法が出来たのをうけ、各市町村では次々に児童虐待防止連絡会(後の要保護児童対策地域協議会)が設置され、ネットワークを駆使して対応していますが、見守りだけでは、「見守りと言う名のネグレクト」状態にすぎず、根本解決にはなっていないと指摘されています。早期に手を打たないと子どもの心への心理的影響が強く、発達障害様反応や非行などの種々の問題が起こってきます。この問題に何とか手を打つべく、さまざまなペアレントプログラムが導入されてきました。1970年代PET(親業)が日本で先駆けて実施され、その後も子育てスキル、エンパワメント、考え方、家族への関わり方等の方法や教材等々、プログラムの構成は多種多様なものとなっています。

実際に大阪近郊で実施されているプログラムを一部紹介すると、1・2次予防のプログラムとして、ノーバディーズ・パーフェクト(カナダ)、スターペアレンティング、コモンセ

ンスペアレンティングプログラム(CSP)(アメリカ)、ポピュレーションから特別なニーズのある人まで、5段階の介入レベルがある前向き子育てトリプルP(オーストラリア)があります。また、3次予防では虐待をしてしまっている人の回復支援プログラムMY TREEペアレンツプログラム(日本)、またアタッチメントに焦点をあてた「安心感の輪」プログラム(COS)、「安心感の輪」子育てプログラム(COS-P)等が展開されています。

ところが実際の支援の現場では、「このお母さんに是非このプログラムを受けて欲しい」と支援者が思って誘ってもスムーズに参加できる人は多くはありません。むしろ、プログラムを受けて欲しいお母さんほどそのような場に敷居の高さを感じてしまって参加しにくいという難しさがあります。

当協会が実施している大阪方式マザーグループは見守るだけの支援から一歩進める支援を目指し、その目的の1つに「孤立感の解消(一歩外へ出るきっかけ)」をあげています。

それぞれのお母さんが持っている不安や悩みに他の参加者や支援者が寄り添い、深く受けとめることで、お母さんたちにエネルギーが補給されて「ちょっとチャレンジしてみようかな」という気持ちになってもらうことを目指しています。そのチャレンジは支援者から勧められた「自分に合ったペアレントプログラムを受けてみることも」かもしれません。支援者もマザーグループを通して、じっくりとその親子が抱える問題を見立て、母親への理解をすすめていく結果、どのプログラムが今それぞれのお母さんたちに必要なかをより的確に選択できます。

大阪方式マザーグループは、それぞれのお母さんたちに必要なペアレントプログラムを確実に届けるための橋渡しの役割も担えるのではないかと考えています。



「育児困難な母と子のグループケア～市町村の虐待防止に向けて～実践編」大阪方式マザーグループの実践についてまとめた冊子です。 1冊500円